

# Z町家庭医療クリニック

## 研修ローテーション概要

### 整形外科

#### 二年目

最終更新：2013年3月10日

#### 目的(Goals):

レジデントは頻繁に遭遇する筋骨格系の外傷や症状の評価・治療が出来るようになり、整形外科専門医と関連職種（OT/PTら）の役割を理解する。また、リハビリなどの具体的な運動指示や、転倒などの外傷予防について、患者に適切なアドバイスや指導を行える知識を得る。

#### 目標(Objectives):

1. プライマリケアの診療所において、頻繁に遭遇する整形外科的疾患の診断と治療に十分習熟する。
2. 筋骨格系の診察を一通り行うことが出来る。
3. ヘルスケアチームとしての家庭医の役割を認識し、専門家に相談すべき時期を理解できる。
4. 骨折の診断（エコー・レントゲン写真）、治療（包帯・ギプス固定）の基本に習熟する。
5. 関節穿刺・関節注射・副木固定などの手技に慣れる。
6. PT/OTなどの関連職種の役割や、運動負荷試験や運動療法について学び、理解する。
7. 整形外科における下記問題を理解する。
  - A) 手首の痛み・外傷
    - i. 舟状骨骨折
    - ii. de Quervain 病（狭窄性腱鞘炎）
    - iii. 手根管症候群
    - iv. 三角線維軟骨複合体損傷（TFCC tears）
  - B) 変形性関節症
  - C) 肩の痛み・外傷
    - i. 鎖骨骨折
    - ii. 肩鎖関節（AC joint）炎
    - iii. 脱臼
    - iv. 回旋筋腱板（ローテーターカフ）損傷
    - v. SLAP 損傷（上方肩関節唇損傷）
    - vi. 肩関節周囲炎
  - D) 膝の痛み・外傷
    - i. 半月板損傷
    - ii. 靭帯損傷
    - iii. 膝前面の痛み
  - E) インピンジメント症候群（股関節）
  - F) 多関節痛
  - G) 足および足首の痛み・外傷
    - i. 足首捻挫
    - ii. 第5中足骨基部骨折（ジョーンズ骨折）
    - iii. アキレス腱損傷
    - iv. Turf toe（母趾 MP 関節の痛み）
  - H) 急性腰背部痛
  - I) 腱障害
  - J) 青少年期の overuse syndrome（水泳肩など）
    - i. 野球肩
    - ii. 野球肘

## 方法(Plans):教育到達目標

### A) 患者ケア

- 患者に対して共感的かつ丁寧なケアを提供出来、適切な連絡手段を使える。
- 整形外科のチームメンバーと一緒に、患者に焦点を当てたケアを提供できる。
- 筋骨格系の診察を一通り行うことが出来る。

### B) 医学的知識

- 整形外科外来での経験を通じて、整形外科に関する診断と治療を行うことが出来る。
- 整形外科とスポーツ医学での経験を通じて、頻繁に遭遇する整形外科的病変を適切に表現し、鑑別疾患を挙げ、適切なフォローをすることができる。
- 適切な放射線検査の適応を理解出来る。
- Y病院整形外科にて、毎週火・木曜日 0730~0815 の初期研修医向けレクチャーに参加する。

担当	項目	内容
医師A	診断学	歩行、ROM、MMT、四肢長・周囲径の測定
医師B	脊椎外科	下肢神経所見の取り方。腰痛の対応法
医師C	外傷学	骨折・脱臼の読影法。救急で行える整復（肘内障）
医師D	関節外科	変形性関節症・人工関節・骨折など
医師E	手・神経外科	上肢神経学所見の取り方。末梢神経障害
医師F	外傷学	創処置法（wet dressingなど）、包帯・ギプス法
医師G	スポーツ整形	スポーツ外傷の特徴、応急処置法（RICEなど）
医師H	リウマチ	整形外科で扱うリウマチ

### C) 診療に基づいた学習および改善

- 情報の利用に習熟し、適切なオンラインの医学情報を利用することが出来る。

### D) 対人およびコミュニケーション能力

- 整形外科医および全ての他職種スタッフと、良好な関係で働くことができる。
- 整形外科的問題・治療の説明を、患者および家族が理解出来るように提供することができる。
- 患者教育資料・パンフレットなどを、適切に提供できる。

### E) プロフェッショナリズム

- 日々の業務を迅速に完遂することができる。
- プロフェッショナルとしての全ての職業活動において、敬意・思いやり・誠実さがあり、自分を高めていく努力ができる。
- 各患者の文化、年齢、身体的障害に対する思いやりがある。

### F) システムに基づいた診療

- プライマリケアの診療所から、整形外科医に紹介するべき疾患や適応を理解する。
- 費用対効果に見合った検査・治療を行うことができる。
- 保険適応病名を理解し、適切な病名・手技を請求・登録することができる。

過去のレジデントが実際に経験した主な症例

※赤字は重要度の高い疾患

(特に頻繁に遭遇した疾患)

脊椎損傷

骨折(鎖骨・上腕骨(近位端/骨幹部)・肘関節・前腕骨・手関節・手根骨・手指・大腿骨頸部・転子部・大腿骨骨幹部・下腿骨・足関節・踵骨)

脱臼(肩関節・肩鎖関節・肘関節部・手根骨・手指・足関節)

骨粗鬆症、骨原発性腫瘍、関節リウマチ、脊柱靭帯骨化症、変形性関節症(頸椎・胸椎・腰椎・股関節・膝関節)、脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、肩関節周囲炎(五十肩)、膝半月板損傷、膝関節捻挫、足関節靭帯損傷

(遭遇する機会のある疾患)

脊髄損傷、胸郭損傷、肘内障、指関節靭帯損傷・手の腱損傷、骨盤骨折、股関節脱臼、膝周辺骨折・脱臼・靭帯損傷、痛風・偽痛風、軟部腫瘍(線維性腫瘍、脂肪腫、血管腫、末梢神経腫瘍、線維肉腫、悪性線維性組織球症、脂肪肉腫、平滑筋肉腫、横紋筋肉腫、悪性神経鞘腫)、骨転移性腫瘍、化膿性骨髄炎(脊柱炎)・関節炎、頸椎椎間板ヘルニア、腰椎分離症・すべり症、腰椎変性すべり症、脊髄腫瘍・馬尾腫瘍、肩鍵盤断裂、手根管症候群、ばね指、de Quervain 腱鞘炎、手・足の骨端症、骨壊死症(Kienbock病、Scheuermann病、Osgood-Schlatter病、Kohler病)、大腿骨頭壊死症、膝蓋大腿関節障害、四肢循環障害

※Y 病院小児整形外科外来・スポーツ外来

筋性斜頸、多指症・合指症、先天性股関節脱臼、Perthes病、先天性内反足、離断性骨軟骨炎、肘のスポーツ障害

(経験する機会のある手技)

パフォーマンス課題	方法
PTの肩・腰・頸のリハビリ指導を1例以上経験する	リハビリ
ギプス作成を1例以上経験する。	手術室・外来
関節穿刺を1例以上経験する。	整形外科外来
アルフォンスシーネ・ジムフォームを使った副木固定を1例以上経験する。	整形外科外来

(見学のみ) 装具外来

□胸椎骨折など、胸部に関するコルセット・装具作成に参加する。

□扁平足の症例など、足に関する装具作成に参加する。

主な研修場所: 公立 Z 町病院 整形外科

ローテーション先指導医: 医師 I (公立 Z 町病院)

研修に関する連絡先: 医師 I (Z 町家庭医療クリニック)

**集合場所:**

公立 Z 町病院 整形外科外来 月曜日 08:30

1 週間前までに、整形外科外来師長までローテーション開始予定日の連絡をすること。

**回診・カンファレンスなど:**

Morning Lecture (Y 病院整形外科クルズス)	火・木曜日 0730-0815 Y 病院整形外科 G 先生まで連絡
--------------------------------	-----------------------------------

**職務内容:**

公立 Z 町病院 整形外科外来

**当直:**

ローテーション開始前月の 15 日までに、公立 Z 町病院医局のカレンダーまで都合の悪い日程を記載しておくこと。当直日程は D 先生によって割り振られている。

**参考書等:**

Clinical Sports Medicine 3<sup>rd</sup> edition Brukner and Khan, McGraw Hill

臨床スポーツ医学 (和訳版) 医学映像教育センター

猿渡先生ワークショップのレクチャー資料

新版第 3 版 整形外科カンファレンス必携 小林 昭 (中外製薬の ME さんから貰える)

Physical examination of the spine and extremities Stanley Hoppenfeld / 図解 四肢と脊椎の診かた

**週間スケジュール**

	月	火	水	木	金
AM	整形外科外来 整形外科外来 初診	Y 病院 整形外科外来	リハビリテーシ ョン	家庭医外来	整形外科外来 初診 装具・ギプス外来
		1000-1130 磐田 ギプス外来	整形外科外来 初診		
PM	1330-1500 リウマチ外来 (隔週)	家庭医外来 Z 町(1ヶ月) 小児整形外来 スポーツ外来 Y 病院(1ヶ月)	家庭医外来 Z 町	手術	Grand Round
	家庭医外来 Z 町				